

E3 九州における高齢者の生活実態—佐賀県伊万里市大川町における—オ1報  
元福岡教育大 平田 昌 東筑紫短大 花崎正子  
○西九州大家政 河野秀子 活水女子短大 赤星礼子

本報告は、九州家政学総合研究会の共同研究の一環をなすものである。

目的 九州は、人口構造、産業構造、就業構造その他において、全国傾向とかなり異なる特性を示している。

九州における今後の「高齢者の生活のあり方」への示唆を得るために、象徴的な九州特性をもっている佐賀県伊万里市大川町を選び調査を実施した。とくに主題について、個人、家族、近隣という三段階のネットワークに着目し、高齢者（60才以上）自身の生活の諸側面の具体的様相とその意識について分析、考察を行った。その結果を今回は、オ1報で研究全体の基本枠組、オ2報で経済的側面について報告する。

本報告は、研究の基本枠組として、九州の特性および調査概要について述べる。

<研究の枠組> 上記3つの段階について、下記についての実態とそれに関する意識

- ・個人レベル—年齢・性別・就業状況・収入・生活時間・健康状況他
- ・家族レベル—家族内役割・困らん・家計他
- ・近隣レベル—近隣関係・社会活動他

<調査の概要>

佐賀県伊万里市大川町在住の60才以上の者に対して、留置式アンケート調査  
'84年12月中旬、有効回答標本数 568票(人)、回収率 85.6%